

整理番号 17

作成日 平成 18 年 6 月 20 日

事業名 熟年者ホームケア機器等給付・貸与事業
 所属名 福祉部 福祉推進課 生活支援係 電話番号 (03) 5662-2486 (直通)

事業の目的・概要・対象者等

《事業の目的及び概要》 《事業の開始年度》 昭和47年度

在宅の熟年者に対し、ホームケア機器を支給又は貸し出すことにより、利用する熟年者の自立助長を図り、家族の負担軽減にもつな갑니다。この事業実施により、日常生活の安定と家族の福祉の向上に寄与しています。
 ホームケア機器：入浴補助用具、歩行車、腰掛便座など

【65歳以上の総人口・17.4.1現在】

対象者 97,879人
 参考：18.4.1現在 102,448人

要介護認定非該当者及びこれと同程度の方
 介護保険対象外機器を使用を必要とする方
 60～64歳の特定疾病非該当者

活動指標

活動指標 対象者の想定数

17年度 1,958人 (16年度) 1,847人
 熟年しあわせ計画に基づく出現率(2%)推計値

活動指標 給付・貸与者数

17年度 給付 804人 (16年度) 723人
 貸与 8人 貸与 8人

成果・目標指標

成果・目標指標 新規介護保険認定率

17年度 0.9% 20年度目標 0.7%

成果・目標指標

17年度 20年度目標

増加する熟年者に対し、熟年者ケア機器を給付・貸与することにより、新規要介護認定者数の伸び率の減少を図ります。(新規要介護認定者÷65歳以上の熟年者)
 H17年度：917人、H20年度推計：773人
 熟年しあわせ計画(介護保険法に基づき、H18年3月策定)

経費の概要

17年度 事業実施経費 10,791千円

内訳

1人当りに給付・貸与しているケア機器の経費は、約13,289円/年です。

【人件費と担当職員数】

ア 常勤職員	0.2人
イ 非常勤職員	0.0人
ウ 臨時職員	0.0人

1,665千円

経費の説明

主な経費の内訳は歩行車の給付です。(17年度実績746台)事業実施経費(9,126,385円)の約5割は、東京都からの支出金で賄われています。

その他

《実施の根拠となる法令等》 ・江戸川区熟年者ホームケア機器等給付・貸与事業実施要綱
 ・江戸川区熟年者ホームケア機器等給付・貸与事業実施要綱

《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》

《その他》

・熟年者が要介護状態に陥らず自立した生活が営めるよう、また、要支援者・要介護者であっても、介護度進行の抑制が図られるよう支援する目的から、経費以上の効果が期待できます。

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	17	事業名	熟年者ホームケア機器等給付・貸与事業
------	----	-----	--------------------

所属名	福祉部 福祉推進課 生活支援係
-----	-----------------

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。					1	
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5					
4	成果が上がっている。	5					
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。	5					
6	受益者負担の額は適切である。					1	
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。					1	
8	民間事業者への委託等の可能性がある。					1	
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。			3			
10	経費を削減できる可能性がある。			3			

所管部長の意見等

在宅での生活を支援するとともに、自立支援ケア機器である歩行車の給付により、気軽に外出できる環境を整え、閉じこもりを防止するなどの効果がある事業で、今後も継続すべきものとする。
一方、所得制限の導入などの課題がある。

平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	17	事業名	熟年者ホームケア機器等給付・貸与事業
-------------	----	------------	--------------------

所属名	福祉部 福祉推進課 生活支援係
------------	-----------------

外部評価委員評価

そう思う ←→ そう思わない

	評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
	【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。			4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。				3			
	【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		5					
4	成果が上がっている。			4				
	【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。			4				
6	受益者負担の額は適切である。			4				
	【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。				3			
8	民間事業者への委託等の可能性がある。			4				
	【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。			4				
10	経費を削減できる可能性がある。				3			

外部評価委員の意見

利用されている方から、必要な事業であると聞いている。是非継続していただきたい。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。